

## 「原水爆禁止 2014 年世界大会」へのメッセージ

「原水爆禁止 2014 年世界大会」が開催されるにあたり、江津市民を代表してご挨拶を申し上げます。

広島、長崎に原爆が投下されて、今年で 69 年を迎えます。現在の私たちは、戦争など無かったかのような平和な時代を過ごしておりますが、戦争が行われたあの時代、原爆が投下されたあの日に多くの人々が無慈悲に殺されていったことを忘れてはなりません。幸いにしてどうにか生き残った方も、今もなお放射能による後遺症に苦しんでおられます。

非核平和宣言自治体として、原爆被害の実態と平和への願いを広く市民に訴え、核兵器も戦争もない平和な世界になるよう更に努力していきたいと考えておりますが、世界では、新たに核兵器を保有する国や国際紛争が続いており、誠に遺憾であります。

私たちは、世界で唯一の被爆国民であります。苦しみながら亡くなられた方、また今も痛みをかかえたまま暮らしている多くの方々の思いとして、核兵器の全面撤廃と恒久平和を子どもたちに伝えていく義務があると確信しております。

この「原水爆禁止 2014 年世界大会」をつうじて、多くの人々が核兵器廃絶の声をあげ、戦争の無い世界の実現のため行動してくださることを期待いたします。

平成 26 年 6 月 26 日

島根県江津市長 田 中 増 次